

## 分野別の施策

区の将来像の実現に向けた8つの方針に基づき、現状や課題、めざすべき姿やそれを実現させるための方策をまとめました。



## 将来像V

生涯を通じて、誰もが健康でいきいきと暮らすことができます。

自分らしく生活を営むことができます。可能な限り住み慣れた地域で

# きもちに寄り添いやさしいまち

【福祉と健康】

## 方針7

### 健康でいきいきと共に 支え合うまちづくり

地域包括ケアって  
知ってる？  
みんなが住み慣れたまちで  
いきいきと自分らしく  
暮らし続けるための  
仕組みなんだって！



### 現状

瑞穂区の高齢化率は、名古屋市と比べて高くなっています。高齢化が進み、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみで構成される世帯、認知症の高齢者の増加が見込まれます。高齢化に伴い、身体的、体力的な理由などにより外出する機会が減っています。

本市では、平成31年4月に名古屋市障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例が施行されましたが、未だ障害及び障害者に対する誤解や偏見があり、また外見からは配慮や援助が必要なことがわからない障害者に対して理解が十分ではありません。

また、以前はご近所づきあいの中で解決できたことが、近隣関係の希薄化により難しくなっています。

健康づくりについては、区内各所にて多くのボランティアによる主体的な活動が行われています。

● 高齢化率（65歳以上人口の割合） ＊各年10月1日現在



＊各年10月1日現在

瑞穂区の 65歳以上の人口	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
	27,547人	27,900人	28,173人	28,282人	28,488人

● 名古屋市 平均寿命・健康寿命〔平成29年〕

	平均寿命	健康寿命※
男	80.83歳	79.39歳
女	86.96歳	83.70歳

※健康寿命：名古屋市総合計画2023において、介護保険の情報に基づく「日常生活動作が自立している期間」を指す

FUTURE  
VISION of  
MIZUHO  
2020-2023



## 課題

- ◆高齢者や障害者など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるための体制づくりが必要である。
- ◆当事者や行政機関だけでなく、家族や地域、かかりつけ医などが理解して協力しあう必要がある。
- ◆多様な障害及び障害者に対する理解が深まるよう普及・啓発が必要である。
- ◆高齢者や障害者、子育ての世帯などのちょっとした困りごとを気軽に相談できる場を増やすなど、地域で解決する取り組みが必要である。
- ◆自力で外出が難しく孤立しがちな人に対して、外出するきっかけをつくるなどの支援が必要である。
- ◆健康寿命の延伸のため、健康づくりに向けた区民の自主的な活動の継続を支援することが必要である。



## 施策

# 19

## 「地域包括ケアシステム」の普及・啓発を進めます

実現させるための方策

### 地域診断を踏まえた取り組み

関係機関と協力して高齢者の孤立死防止や介護予防に関しての地域診断に取り組み、地域住民の方との意見交換の機会を設けます。

### 若年層に向けた認知症サポーター養成講座の開催

小・中学生など若い世代にも理解をしてもらう取り組みを行います。

### 普及啓発事業の実施

地域包括ケアについての理解が深められるようテーマの切り口を工夫し、市民講演会や出前講座、みずほフェスタ等を開催します。

### 広報媒体の活用

広報なごやや関係機関の広報媒体などを活用し積極的に広報します。



施策

20

障害を理解し、お互いに助け合う地域づくりをめざします

実現させるための方策

障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に助け合っていける地域づくりを促進します。

若年層に向けた福祉教育の実施

関係機関との連携により小・中学生に対して障害及び障害者に対する理解を深めていく取り組みを行います。

障害及び障害者に対する理解の普及・啓発

障害及び障害者に対する正しい理解を深められるように講演会等を開催します。



施策

21

ちょっとした困りごと支援を拡充します

実現させるための方策

気軽に相談できる窓口設置の促進

地域支えあい事業の実施学区を増やすことで、高齢者等の生活上のちょっとした困りごとについて気軽に相談できる窓口の設置を促進します。

学区独自の支えあいの仕組みづくりの支援

地域支えあい事業以外にも、独自の支えあいの仕組みづくりをめざす学区の支援を行います。

10



11



施策

22

孤立させないつながりづくりを進めます

実現させるための方策

おでかけ応援ボランティア活動の推進

外出支援のボランティア活動者を増やすとともに、活動の拡充を図り、高齢者や障害者なども自由に外出でき、楽しめる機会を増やします。





施策

23

健康づくり活動を支援します

実現させるための方策

区民の健康づくりを支援

区民が主体的に健康づくりに取り組めるよう「健康ささえ隊」などの活動を支援します。併せて仲間づくりができるよう働きかけていきます。

健康づくり事業・介護予防事業の実施

地域の実情に合わせた健康づくり事業・介護予防事業を関係機関と協働しながら実施します。

健康に関する情報の提供

特定健診や各種がん検診等の受診勧奨とともに、様々な機会をとらえて健康に関する情報を提供します。



指標	現状値	目標値
地域包括ケアシステム※の認知度	21.2%	50%
週1日以上運動・スポーツ※をする人の割合	70.1%	75%

※地域包括ケアシステム：高齢者ができる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・福祉が連携して必要とされるサービスを一体となって切れ目なく提供していく仕組み  
 ※運動・スポーツ：ウォーキング（散歩、一駅歩きなど）や階段昇降等を含む

瑞穂区地域包括ケアシステム推進体系図

